

# 課題抽出及び課題解決の方向性について

資料 2-1

## 1 さいたま市における文化財の概要

### (1)指定件数

		国指定	県指定	市指定	合計
有形文化財	建造物		5	38	43
	絵画		9	10	19
	彫刻		6	48	54
	工芸品	3 (国宝 2)	12	30	45
	書跡			9	9
	典籍		1	1	2
	古文書		13	56	69
	考古資料		4	46	50
	歴史資料	1	3	49	53
無形文化財			1	1	2
有形民俗文化財		1	8	35	44
無形民俗文化財		1		16	17
史跡		2	7	34	43
名称					0
天然記念物		2 (特別 1)	4	68	74
旧跡			3		3
合計		10	76	441	527

## (2)その他登録等文化財件数

		件数
国選定保存技術	漆刷毛製作	1
国登録有形文化財	建造物	13

## (3)鉄道博物館(東日本旅客鉄道所有)指定文化財件数

種別		件数
国指定有形文化財	歴史資料	4

(4)区別文化財件数(鉄道博物館除く)

	国指定	県指定	市指定	国登録等	合計	
西区		5	37		42	
北区		1	15	1	17	
大宮区	3	23	20		46	
見沼区		3	54		57	
中央区	1	2	48	2	53	
桜区	1	4	55.5	2	62.5	※
浦和区	1	17	43		61	
南区			42	2	44	
緑区	1	12	87.5	1	101.5	※
岩槻区	3	9	39	6	57	
合計	10	76	441	13	541	

※一つの指定名称で所在場所が桜区と緑区にある

## 2 さいたま市の文化財の現況

### (1) 指定文化財

#### ア 指定文化財の強み

- ・旧石器時代から江戸時代まで幅広く指定
- ・旧市の歴史的特徴を反映
- ・都市近郊のサクラソウ自生地、近世土木遺産である見沼通船堀、集落と水辺の活動域がセットで保存されている真福寺貝塚など、全国的にも数少ない特徴ある文化財

#### イ 指定文化財の弱み

- ・旧市の取組を引きずっている
- ・区域の分け方にもよるが、指定件数にばらつきが生じている
- ・さいたま市の歴史的特徴が反映できていない
- ・近代以降のものが希薄
- ・文化財を単体で活用

## (2) 指定以外の文化財

- ア さいたま市の特徴的な歴史文化に関わるもの  
盆栽、鉄道遺産、北沢楽天関連、浦和画家、人物(顕彰碑)、  
人形、熊手作り、食文化など
- イ 熱心な取り組みがなされているもの  
各地域に伝わる祭囃子、昼間の渡しの火祭り、三貫清水の保全など
- ウ 消滅の危機に瀕しているもの  
近代建築、宿場の景観、石造物など

## (3) 現状

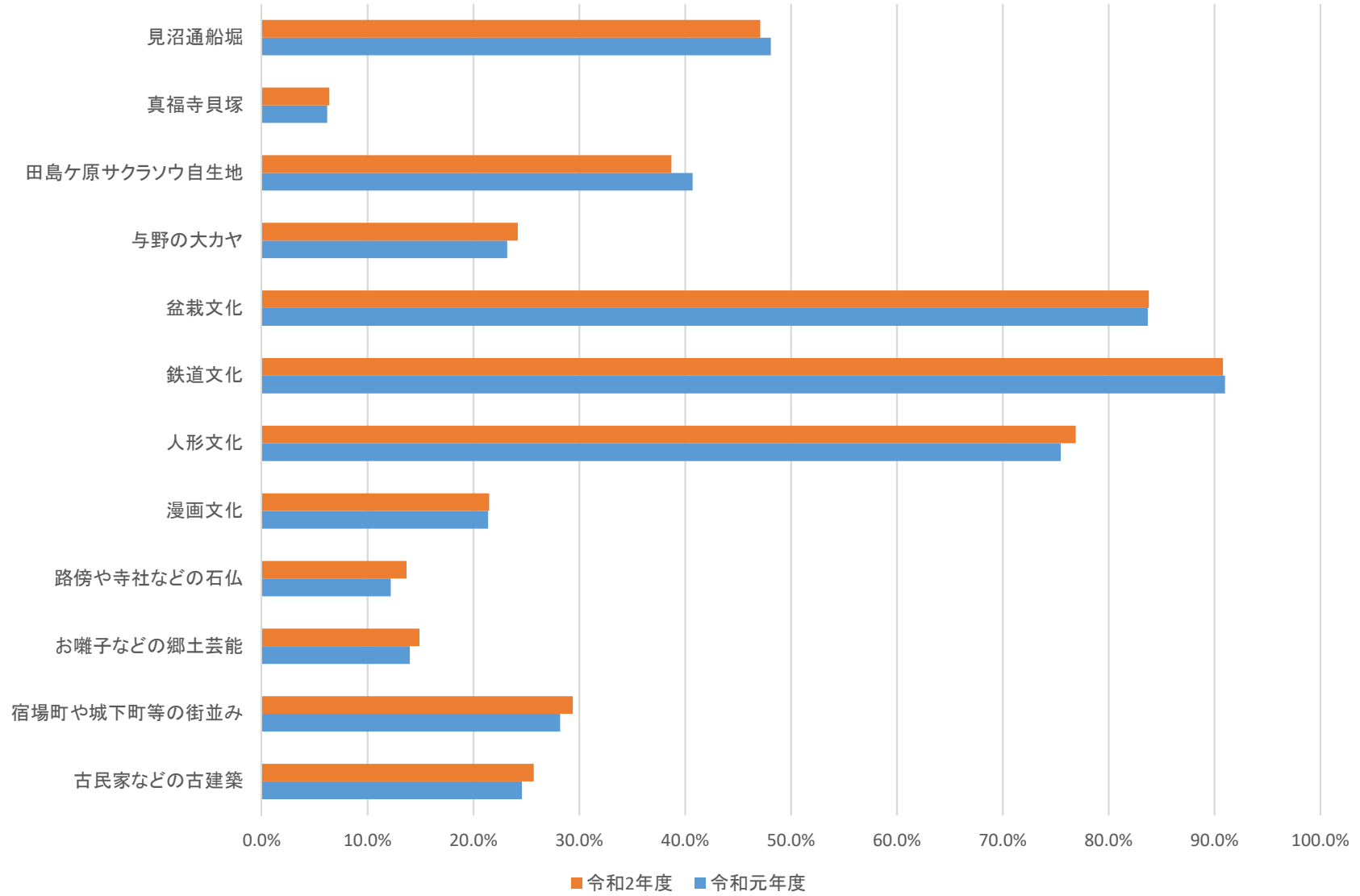
- ・文化財単体の保存と活用
- ・多様な主体と連携した保存と活用が不足

# 新しいまちづくりのための市民アンケート結果

問1 さいたま市の歴史文化資源で知っているもの

項目名(複数回答)	実績値	(R1)	実績値	(R2)
	集計値	構成比	集計値	構成比
全体	2,201	100.0%	2,370	100.0%
見沼通船堀	1,059	48.1%	1,116	47.1%
真福寺貝塚	137	6.2%	151	6.4%
田島ヶ原サクラソウ自生地	896	40.7%	918	38.7%
与野の大カヤ	510	23.2%	574	24.2%
盆栽文化	1,842	83.7%	1,987	83.8%
鉄道文化	2,003	91.0%	2,152	90.8%
人形文化	1,662	75.5%	1,822	76.9%
漫画文化	471	21.4%	510	21.5%
路傍や寺社などの石仏	268	12.2%	325	13.7%
お囃子などの郷土芸能	308	14.0%	352	14.9%
宿場町や城下町等の街並み	620	28.2%	696	29.4%
古民家などの古建築	542	24.6%	608	25.7%
無回答	57	2.6%	80	3.4%

### さいたま市の歴史文化資源で知っているものの割合



問2 さいたま市の歴史文化資源について／愛着があり、大切だと思う

項目名	実績値	(R 1)	実績値	(R 2)
	集計値	構成比	集計値	構成比
全体	2,201	100.0%	2,370	100.0%
そう思う	649	29.5%	644	27.2%
どちらかと言えばそう思う	1,088	49.4%	1,251	52.8%
どちらかと言えばそう思わない	370	16.8%	360	15.2%
そう思わない	68	3.1%	78	3.3%
無回答	26	1.2%	37	1.6%

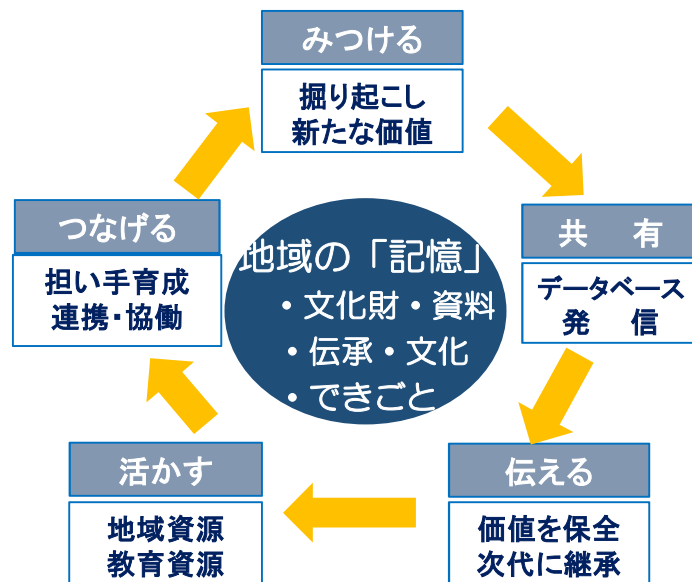
そう思う、どちらかと言えばそう思う

令和2年度 80.0%

令和元年度 78.9%



# 課題抽出と課題解決の方向性



## 5つの課題と方針

「見つける」

「共有」

「伝える」

「活かす」

「つなげる」

※ 資料2-2